

地域おこし協力隊員着任 富永絵美さん



10月1日(火)、新しい地域おこし協力隊員として富永絵美さんが着任しました。

福岡市から転入してきた富永さんは、久留米餅の大ファン。昨年行われた「ひろかわ産地の学校」に参加したことがきっかけで広川町を訪れるようになり、地域おこし協力隊員に応募したということです。

渡邊町長から委嘱書を受け取った富永さんは「これから広川町をもっと多くの人に知っていただく活動をしたい」「まずは町の人々と信頼関係を築くところから始めたい」と抱負を語りました。

食のオスカーで1つ星受賞 八女茶農家 弓削洋さん



八女茶農家 弓削洋さん(太田区)の紅茶が、イギリスの食品事業者組合(The Guild of Fine Food)が主催する「グレートテイストアワード2019」で1つ星を受賞しました。

グレートテイストアワードとは、「食のオスカー」とも呼ばれる食品の国際大会。味を重視した厳しい審査基準で、一流シェフや料理研究家が評価します。

弓削さんは8月20日(火)、渡邊町長へ受賞を報告。「厳しい審査を経て受賞できたことで、品質に自信が持てた。来年は2つ星、3つ星を狙っていきたい」と今後の抱負を語りました。

空手で全国大会出場 中広川小 柿原芽衣奈さん



柿原芽衣奈さん(中広川小1年)が、11月4日に国立代々木競技場で行われる「第13回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会」に出場します。9月25日(水)、町長と教育長のもとを訪れた柿原さんは、「一番大きなトロフィーを持って帰ってきます」と大会への意気込みを語りました。

なお、柿原さんには青少年の健全育成を目的に寄与される「広川町青少年人材育成補助金」と、スポーツ振興を目的に寄与される「スポーツ振興チャリティー基金奨励金」が贈られました。

地域と一緒に枝木伐採 九州電力(株)協働活動



9月18日(水)、小椎尾区・逆瀬谷区・梯区の地域住民と、九州電力(株)などの各種団体計41人が協働し、生活道路沿いの枝木を伐採しました。

当日はまだ残暑が厳しい中、高所作業車を使っての伐採から積み込み、運搬まで一連の活動を、参加者同士が協力して行いました。作業後、参加者からは「すっきりして見通しが良くなった」といった声が聞かれました。

作業直後の9月22日(日)には台風17号が来ましたが、活動した道路には倒木などもなく、活動の成果が表れました。

2大会連続メダル獲得 広川イーグルス



9月1日・7日・8日に筑後市で行われた「第19回Jふくおか八女杯少年スポーツ大会(野球大会)」で、広川イーグルスが3位となりました。

9月14日～16日に八女市で行われた「第25回忠見ライオンズ旗争奪少年野球大会」では、コールド勝ちなど他を圧倒。準決勝で悔しくも敗れてしまいましたが、見事2大会連続で銅メダルを勝ち取ることができました。

●いつでも体験にお越しください
(火)(金)(土)(日)、部員20人(うち女子5人)が広川球場バックネット側でお待ちしています。

問 保護者代表 野中
090・1086・6601

学年を超えて力を合わせる 中広川小運動会



10月5日(土)、中広川小学校で運動会が行われました。今年の児童会スローガンは「一人一人がブロックの仲間 力を合わせて優勝目指せ」。1年生から6年生までが団結し、練習の成果を発揮しました。

6年生の「天地SHOW造」では、地球の変化を組み体操などの演技で表現。難易度の高い技を見事成功させた児童へ、観客から大きな拍手が送られました。

県民体育大会 3位 バドミントン競技 八女郡チーム



9月21日(土)～22日(日)、嘉穂総合高等学校で行われた「第62回福岡県民体育大会」バドミントン競技で、八女郡(広川町)が3位に入賞しました。

キャプテンの三角さんは「2回戦で前年度準優勝チームを撃破しての快挙でした。メンバーの結束とバドミントンを愛する気持ちはどこにも負けません。これから応援よろしくお願ひします」と喜びを語りました。

香り豊かな新そば堪能 新そば祭り

10月6日(日)、逆瀬ゴットン館で「新そば祭り」が行われました。

新そば祭りは、秋の収穫祭(広川くだもの村)と並ぶ、広川町スローフードフェスタの一つ。水車の動力でひいたそば粉と逆瀬谷薬師堂の地下水を使った、ひきたて、打ちたて、ゆでたてのそばが堪能できるイベントです。

当日は香り豊かな新そばやそばだんご汁、水車米のおにぎりが野外で販売され、一部商品はすぐに完売。駐車場は常に満車状態となるなど、多くの人で賑わいました。

会場では地元野菜やつきたて餅の販売もあり、来場者はそばと一緒に秋の味覚を味わいました。



講習会&訓練でスキルアップ 広川町消防団

9月の4日間、町民交流センター「いこっと」などで「地域防災訓練指導員養成講習会」が行われ、広川町消防団の25人がスキルアップに努めました。

講師は八女消防署広川分署。参加した団員は防災の基礎知識を学んだ後、倒壊により下敷きになった人を救出・搬送する訓練や、地図上で災害時の被害をイメージする災害図上訓練を行いました。

29日(日)には講習会で学んだ団員が中心となり、全団員で災害図上訓練を実施。各分団が管轄する行政区の地図に地域情報や防災情報を書き込み、最後は全分団で災害時の被害情報を共有しました。

災害時 KBC と連携 防災パートナーシップに関する協定



広川町と九州朝日放送(株)(KBC)が10月3日(木)、「防災パートナーシップに関する協定」を締結しました。

この協定は、町内で災害が発生した(危険性が高まった)とき、危険情報や避難情報を住民へ速やかに伝えるため、連携を強化するもの。

緊急時はKBCのテレビやラジオなどで情報発信し、平常時は災害に関する映像を提供するなど、防災力強化を図ります。

老若男女が笑顔で激戦 広川町民体育大会



10月13日(日)、広川中学校で行われた「第57回広川町民体育大会」。小学生や地区役員、町内各種団体など、老若男女問わず多くの町民が参加しました。

当日はラグビーW杯開催中ということもあり、仮装ラグビーのバトンラグビーボールに。いつもと違う形のバトンに苦戦し、途中で落としてしまう参加者もいましたが、最後は皆笑顔で完走しました。